

「全員野球でまず1勝」

マツゲン箕島 知事らに抱負語る

社会人野球権 日本選手権



た新人投手が入って投手陣の軸ができ、捕手の主将もリード面などで成長。4番も活躍して勝つことができた」と大会を振り返り、藤田幸永主将は「日本選手権は勝ったことがないので、全員野球でまず1勝したい」と抱負を述べた。

名前が挙がった奥田貴太投手、主砲の竹中夢翔選手が「全国では思い切ってプレーしてチームに貢献したい」と意気込みをみせると、岸本周平知事は「心

社会人野球の第48回全日本クラブ選手権大会（毎日新聞社、日本野球連盟主催）で優勝したマツゲン箕島硬式野球部（本拠地・有田市）の選手、監督らが19日、県庁や毎日新聞和歌山支局（和歌山市）などを訪問した。

マツゲン箕島は県内唯一の社会人硬式野球チーム。同大会優勝によって今秋に大阪市で開催される日本選手権への出場は4大会ぶり7回目。

西川忠宏監督は「大学でプロ候補といわれ



岸本周平知事（左端）を表敬訪問したマツゲン箕島の西川忠宏監督（右端）や選手ら一県庁で

強い。若いチームはいいですね」と目を細めていた。

その後、支援企業でスパーマーケット事業を展開する「松源」

の本社（和歌山市）で祝勝会が開かれ、選手や社員ら約80人が参加。祝福を受けたナイフは日本選手権での活躍を誓っていた。